



ロータリーに輝きを

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
 URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：池ノ谷 敏正 副会長：森下 敏願 幹事：鈴木 舜光 副幹事：大長 昭子

第2079回

- ソング 我等の生業
- ソングリーダー 土屋 秀夫君



【富士山】

写真提供：櫻井 龍太君

会長報告

池ノ谷 敏正君

皆さん、お元気でお過ごしでしたか。

先々週立春を迎え、暦の上では春となりました。

しかし寒い日が続き、春を実感できるのはまだまだ先とっていましたところ、先日の10日、伊豆の河津町で河津桜まつりが始まりました。現時点では2分咲き程度だそうですが、伊豆では桜がもう咲き始めています。

全国でも有名な早咲きの河津桜。訪れてみて、一足早い春を感じてみたいと思います。

ところで、2月はロータリーのカレンダーでは「世界理解月間」となっています。それはロータリーの創立記念日があるからだそうです。

1905年2月23日、ポール・ハリス、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーの4人によってシカゴで初めてロータリーの会合が開かれました。この日がロータリーの創立記念日です。

この月間中、ロータリークラブは世界平和に不可欠なものとして、理解と善意を強化するようなクラブプログラムを行うよう要請されています。

また、2月23日のロータリー創立記念日は、「世界理解と平和の日」と定められ、各クラブはこの日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身的活動を確立し、強化しなければならないのだそうです。

さらにRI理事会は、2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強化することを決議しています。2月



の「世界理解月間」は、ロータリークラブが親善、平和、世界中の人々の相互理解といったロータリー活動のきっかけを作る月ともいえるようです。

我がクラブでも、この月に奉仕プロジェクト委員会の国際奉仕担当卓話が予定されているのは、そういった理由があるからなのです。

幹事報告

鈴木 舜光君

- ・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会よりハイライトよねやま 179 が届きました
- ・一般社団法人ロータリーの友事務所より2015-2016年度版 ロータリー手帳お買い上げのお願いが届きました。
- ・藤枝市暴力追放推進協議会より暴力追放だよりNo.7が届きました。

出席報告

松葉 義之君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
27/42 64.28%	35/42 83.33%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○石垣君 ○大塚博君 ○河井君 ○仲田廣君
○山田君 ○渡辺君 池谷君 江崎晴君
大杉君 落合君 島村君 玉木君 仲田晃君
松田君 村松君

(2)メイクアップ者

大塚 博巳君(静岡東) 鈴木 透君(静岡中央)
島村 武慶君(静岡中央) 松葉 義之君(静岡北)

スマイルBOX

松葉 義之君

- ・韓国で開催されたアジア美術展に私の作品が
出展されました。紹介本を回覧しますので
ご覧ください。 江崎 友次郎君

- ・誕生日・結婚記念お祝い有り難うございます。きれいなお花が届きました。結婚25年、孫がほしい今日この頃です。

鈴木 邦昭君

スマイル累計額 106,000円

■ ポリオプラス寄付金

ポリオ撲滅活動へのご協力有難うございます。

本日寄付金額 4,091円

寄付金累計額 98,128円

■ 会員卓話

鈴木 邦明君



「塗料の歴史」

日本での塗装の歴史は古くは「漆」を塗ったのが始まりで2400年前になります。ペンキというものが使われるようになったのはペリー来航時に油性塗料が運ばれたことにより始まりました。それから25年後の明治13年、国産のペンキが日本ペイントを設立した茂木兄弟によって製造され日本の気候風土にあった塗料が普及していきました。

その五年後の明治18年には「錆止め塗料および塗装」が日本の特許第一号として登録されています。

欧米ではDIYが古くから根付いていてそれに伴い塗料の開発も進んだのですが、畳・障子をしつらえた木造建築がほとんどだった日本で、「塗料の開発」はかなり画期的だったと思います。

ですが、木部の自然派塗料はオスモ・キシラデコール・リボスがドイツ、シッケンズがオランダで今でも海外の塗料が主流になっています。

その後、フタル酸・塩化ゴムなどの合成樹脂を利用した塗料の開発・

エマルジョン／エポキシ樹脂塗料の開発などを経て、今日主流である

「機能性を付与」した塗料の開発に至っていません。

近年では、光触媒塗料や節電の後押しで遮熱塗料も注目をされましたが、どんなものが開発されているか英国のサッカーチーム「マンチェスターユナイテッド」とグローバルパートナー契約をして話題となっています「関西ペイント」に

聞いてみました。

無機ハイブリット塗料の開発が主流になっているとのことです。

無機塗料は十年ほど前からありましたが、樹脂が硬いがゆえにシーリング上の塗膜が動きについていかず割れてしまうという不具合が発生し、塗料自体高価なものでしたので、主流には至りませんでした。

無機ハイブリット塗料は「炭素を含まない化合物」でガラスや鉱石などのように紫外線により分解されない結合をもつもので、劣化に強く汚れにくいといったメリットがあります。が、硬いゆえに割れやすいといったデメリットがあります。それを補うために軟らかく割れにくい有機物を合成してフッ素同等以上の耐候性を実現する塗料になります。一部のメーカーで発売はされていますが、まだまだ開発途上の塗料ですので今後に期待したいと思います。



(担当／大石英君)